

すみだ区議会

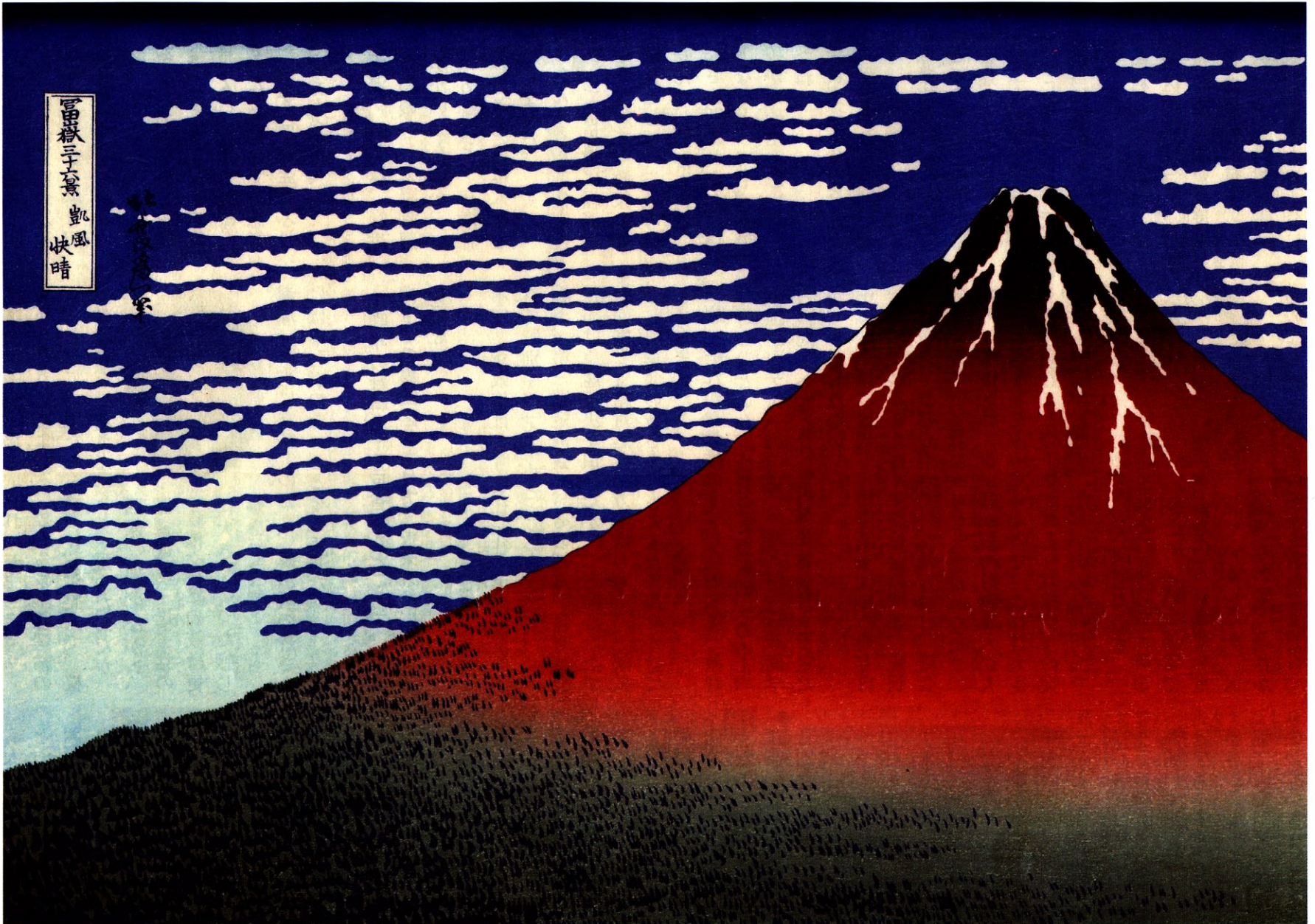
自由民主党会派報

発行
墨田区議会自由民主党
墨田区吾妻橋 1-23-20
発行責任者 出羽 邦夫

<http://jimin-sumida.jp/>
墨田区議会自由民主党のホームページを
リニューアル致しました。
ご意見・ご要望をお待ちしております。

葛飾北斎

(1760～1849)は、江戸本所割下水(現墨田区)に生まれ、幼少より享年90歳まで、絵師として労苦を重ね、森羅万象を描きました。墨田区では、その偉業を後世に伝えるため「北斎館」の建設を予定しています。



「富嶽三十六景」墨田区所有より複製

謹賀新年

本年も宜しくお願いいたします

本年は、これら事業の着実な推進を図るため、引き続き財政基盤の強化に努めていかなければなりません。まちづくり交付金など新政権の動向を見極めながら、積極的に行財政改革に取り組むと共に、経済雇用対策、子育て支援、高齢者福祉対策の充実を図り、安心安全なまち「すみだ」を実現していかなければなりません。私たちが区議会は、より活発で開かれた議会運営に努め墨田区の未来に夢と希望が持てるよう全力で取り組んでまいります。本年が、区民の皆様にとってより良い年になりますよう、心から祈念いたします。



墨田区議会議長
坂下 修

新春を向かえ、区民皆様のご健勝とご多幸をお喜び申し上げます。また、新成人となられた皆様には心からお祝いを申し上げます。昨年は、未曾有の世界的な金融危機により社会経済は極めて厳しい状況が続き、中小零細企業が多く集積する本区においても、その影響は大変大きなものとなりました。本区はこれに対処し、様々な緊急経済対策や雇用対策に取り組んできたところであり、これに加え、政権交代、新型インフルエンザの大流行と極めて激動の年でもありましたが、一方で、東京スカイツリーが三三〇メートルを超え、区が行う関連事業も、いよいよ本格的に動き出すという、明るいニュースもありました。

昨年、政権交代がなされ四ヶ月目を迎えておりますが、新政権は、国民にとって、また区民にとっても聞こえのよい政治を印象づけようと、これまでの政策の内容や予算の決定方法などについて、事業仕分けという手法を振りかざした検討が進められている一方で、個々の政策については未だ実現に向けた工程が明らかにされていないなど、ほころびも見え隠れしています。また、マニフェストに示された政策についても今後どうするか、どうなるのか、現時点においても未だに明確にはなっておりません。さらには、財源確保の道筋も見えてこない状況にあり、民主党小沢一郎幹事長の独裁感がいろいろな点で危惧されています。 「区議会自由民主党」十三名は、しっかりと足場を固め、「すみだ区」進展のため全力で課題解決に向けて働いてまいります。どうぞ、ご支援、ご指導をよろしくお願い申し上げます。



墨田区議会自由民主党幹事長
木内 清

あけましておめでとうございます。今夏には東京タワーを超え、「すみだ区」全域から「東京スカイツリー」が確認できる年となります。躍進「すみだ」の起爆剤として、しっかりと活用していかなければなりません。

年頭のご挨拶

新春座談会

昨年をふり返り 新年を語る

出席者 瀧澤良仁(墨田総支部長) 坂下 修(墨田総支部政調会長)
 中村光雄(墨田総支部幹事長) 木内 清(区議会自民党幹事長)
 西原文隆(墨田総支部総務会長)

— 昨年は、米国のリーマンショックに始まる世界的経済不況の影響が日本にも及び、百年ぶりの大不況といわれるほどの社会不安を巻き起こしました。我が自由民主党にとっても厳しい風が吹き荒れました。

新春を迎え、新たな意気込みで立て直しを図らなければなりません。そこで、墨田区の自民党を支えるリーダーの皆さんにお集まり頂き、希望のもてる明るい「すみだ」を目指す心意気を語っていただきました。まずは、昨年をふり返るところからはじめていただきます。



瀧澤 / 21年は、麻生首相のもと衆議院選挙がいつあるか、いつあるかと、有権者の皆さんには大変なご心配やご迷惑をおかけしました。

西原 / そうでした。麻生さんの首相就任直後にリーマンショックがあつて世界中に経済不安が広がり、日本も直撃を受けて、政策よりも経済対策だと、責任政党としていろいろ手を打たなければなりませんでしたからね。

中村 / マスコミにはさんざん叩かれたね、決断が云々、支持率が低下などと。でも、あの時の経済対策の速さは確かだったと思いますよ。でも時間がなかったね。

木内 / 七月には都議会議員選挙。我が会派からも藤崎さん、桜井さんが名乗りを上げ、挑戦させていただきました。



中村 / そうだね。墨田区総支部としても、当時流れていた民主党の風を払拭するために一生懸命頑張ったんだが、その都議選も残念ながら民主党に

都議会第一党の場を取られてしまった。坂下 / そうですよ、次に控える衆議院選挙の布石として、私たちも総力体制を整えて、桜井の勝利を松島さんにも頑張ったんだが。



西原 / 残念ながら、都議選後、民主党の「政権交代」の波は更に大きくなった感じがあつたね。

瀧澤 / 本心に支持者の方々、墨田区の皆さんには申し訳のないことをしました。

— 昨年の経緯を十分反省したところで、新政権下での墨田区のあり方、近未来像についてお話を。

木内 / 新政権はもう右往左往、墨田区の「子育て特別手当」も中止となつてしまった。

坂下 / 第三回定例会で、その補正予算を議会にかけ急遽議決を頂いたが、二週間もたたずに廃案。支給対象者の方々はもちろん、議長として議会の皆さんにも大変な迷惑をかけてしまいましたよ。

西原 / それから学校のITC化の変更。教育分野もひどいね、教員免許更新制度の中止、全国学力テストの中止、「ゆとりから基礎学力の向上へ」と新学習指導要領を行う予定だが、これも危ない。

中村 / それに加えて、墨田区をはじめ地方自治体に関わるまちづくり交付金の問題、税制度の変更、子ども手当での支給方法と、議会の方も来年度予算に向けて大変だろうね。

木内 / 墨田区は、東京都からの財調算入が大きなウエイトを占めているので、これが大きく落ち込むことが予想されるし、国からの交付金も予定が立たず、予算が組めない状況ではありますね。



坂下 / 木内会派幹事長とも、議会運営でいろいろ打合せを重ねているんだが、区民への影響、これからのまちづくり、この不況を打開するだけで

も大変なのに、国の方向、方針が決まらないというところは、実に変です。西原 / 押上2号踏切の高架については、どうなるんだい。

瀧澤 / 東京スカイツリーの完成後、車の渋滞が一番予想されるのは東武鉄道の押上の大踏切、2号踏切だね。単独の高架事業だから東京都も補助金助成の敷居が高い。

西原 / 何とかしなければ、大きな汚点になりますよ。

坂下・木内 / はい。

木内 / 我が会派の予算要望でも、最重要課題として押上2号踏切の高架を掲げていますし、いざとなれば、住民運動、区民運動を起こしてでも、都や国への働きかけをする覚悟でおります。

— 木内幹事長から力強い発言が出ましたが、この度、東京スカイツリー観光客の誘導も考慮に入れた区内循環バスの路線案が発表されましたね。

中村 / まあいろいろ苦勞も多いが、ちょっと明るいニュースは「区内循環バス」の素案ができたことだね。

瀧澤 / 私が所属する新タワー建設・観光対策特別委員会でも、路線の検討を頂き、区民の方々にお示しして意見を伺っていると、区民の投入されることでもあるので、基本として、従来のバス路線と競合しないこと、区道を通り、交通不便地区の解消に努め、区民の方々の足となるような素案が、やっと決まったところなんだよ。

中村 / 区道を通り、一周45分程度の運行を考えると、片方向周り、北部二路線、南部一路線というのは仕方ない。これで区役所通りも少しは脚光を浴びるだろうね。これから、一路線に十五から十六箇所のバス停設置、運賃はワンコインを予定しているようだが、乗り継ぎの問題とか、車両の決定、運営方法と論議は山積だと思いが、区民の足となるよう頑張っていきたいと思います。



木内 / タワー関連建物の建設も始まり、墨田区には一七〇億円の経済効果があるとの試算もあるし、

坂下 / 区民の方々のコンセンサスがまとまり次第、瀧澤委員長のもと、議会決定をして、具体的運営を決め、タワー開業前の来年には運行できるように、行政側とも話し合つて計画していきますよ。

地元の西原さんの意見も参考にしながら、「東京スカイツリー効果」が墨田区内に全域に広まるようこれからの正念場、一致結束して頑張ります。

第4回定例会での質問概要

（平成21年11月27日～12月11日）

代表質問



樋口 敏郎

◆墨田区各学区長顕彰について

問 我が会派では、名誉区民顕彰の候補として初代区民栄誉賞に輝いた王貞治さん、平成18年に名誉都民となられた押絵羽子板の伝統工芸保持者・西山鴻月さんを推薦しているが、具体化に向けた検討が行われているか。また、実現した場合、事績をまとめた顕彰コーナーが設置されることを期待しているが、区長の考えを伺う。

答 名誉区民は墨田区の名を高め多くの区民の方から敬愛される方を顕彰する制度であり、現在の意向確認や、選定委員会の設置等の調整を進めており、区議会の同意を経て決定したい。また、名誉区民として永く顕彰すべく、「顕彰コーナー」などの設置についても検討したい。

◆政権交代下の22年度予算編成について

問 新政権は、子ども手当や公立高校の実質無償化、暫定税率や後期高齢者医療制度の廃止等身近な生活上の負担を軽くする政策を前面に出し、国民にとっては聞えぬよき政策を印象付けようとしているが、個々の政策や財源確保対策については明確な工程が示されていない。国民の動搖と政治不信を与えかねない状況にある。そこで、本区への影響について幾つか質問する。

答 新政権は、子ども手当や公立高校の実質無償化、暫定税率や後期高齢者医療制度の廃止等身近な生活上の負担を軽くする政策を前面に出し、国民にとっては聞えぬよき政策を印象付けようとしているが、個々の政策や財源確保対策については明確な工程が示されていない。国民の動搖と政治不信を与えかねない状況にある。そこで、本区への影響について幾つか質問する。

①財政調整交付金への影響について

問 本区の来年度予算編成や今年度の財政運営に、影響のある財政調整交付金への影響も、大きなものがあると予測されるが、来年度の財政調整交付金の規模と本区への影響額について試算されているか。

答 特別区財政調整交付金の減収額は、約二千億円とも言われ、区側配分率である五五パーセントにすると、約一千億円の減収が見込まれる。また、本区に対する影響額は、十億円台後半の減収が想定され、極めて深刻な額となる。

その対策としては、歳入の減収額にあわせて、できる限り歳出の削減を図ることが基本となる。各局には、契約差金金の凍結といった執行の確保に加え、今後執行を予定している事業についても見直しを行うなど、さらに踏み込んだ対応を求めたところである。そのうえで、収支均衡を確保するために必要に応じ、積立基金の取り崩し等も考慮に入れて財政運営を行うべきである。

ていきたい。

なお、来年度の予算については、現時点ではまだ来年度の予算編成が示されていないが、具体的な影響額は試算が困難な状況であるが、相当程度の減収を覚悟せざるを得ないと考えている。

②法律に基づく国と地方の協議の場の設置について
問 地域主権を唱える新政権の事業仕分け作業の実績を見ると、国レベルの見直しに拘泥し、地方との関係や地方行政については視野に入っていないと思われ、見直しを進めようとする方針と、法律に規定する協議の場を設け、区長も行動を起こすべきだと考えるのが区長の見解か。

答 新政権発足当初から、全国市長会などの基盤自治体と連携し、国と地方の協議の場を設けようとしてきた。これに対し、政府は十一月十七日に、地域主権戦略会議の設置を閣議決定した。しかし、残念ながら、協議の場の設置や基本法について、未だ具体的なものはなく、いまだ不明な部分が多い。全国的な協議の場が制度化を改めて強く要望しているところである。地方の声を反映されるよう、区長会としても必要な行動をとっていききたい。

◆緊急待機児対策について

問 昨年、待機児童の解消緊急三ヵ年計画を策定したが、一年目で当初予測を超えた待機児童が発生するという結果となった。その要因をどうのようにとらえ、新たな推計はどのような観点で保育需要を算出するのか。また、保育人口の増に対応し保育所の整備についての中、長期的な方針を持っているのか。

答 最近の経済・雇用情勢の悪化や共働きの増加による世帯の増加、結果として保育所の入所希望者が予測を超えて増加した。また、潜在的ニーズの把握が極めて難しいということがある。保費をどうするかや、保育需要の新たな推計については、0歳児から5歳児までの就学前児童数を予測して算出しているが、今後、平成二十七年から少子化の影響により減少に向かうと推計され、保育需要は、平成二十六年度までは増加する傾向にあるのではないかと考えている。

◆学童クラブについて

問 この二つの子ども教室は共に活発に活動し、保護者からも安全で様々な体験ができる場として大変喜ばれているが、活動内容も類似している面があり、今後、統合的な展開方針や計画性を持つべきではないかと考える。見解を伺う。

答 現在「学童クラブ」と「いきいきスクール」は別個の運営となっているが、第三号館小学校では、学校内に学童クラブを設置されていることから、双方が協力して活動も行っている。さらに、協力のあり方を調整するため、本年度、子育て支援担当と教育委員会により、「放課後子ども教室運営委員会」を立ち上げたところである。それぞれの役割に関する検証も含め、今後の展開方針、役割分担などの方向性や、区・地域、学校の連携のあり方を調整し、統合的な計画を示していきたい。今少し時間をいただきたい。

◆押上2号踏切について

問 押上2号踏切の高架化は、早くからわが会派の西原区議を先頭に区議会全体で取り組んできた。東武鉄道は、事業申請し運賃の値上げと税除除の恩恵を受けたいにもかかわらず、たまたま採算が合わないというので方針変更するという不誠実な態度である。新タワーの開設が目前に迫っている中で、東武鉄道から踏み切り解消への新たな提案や誠意ある対応は見えないう状態だ。企業責任を含め、両者の関係をどうように再構築していくのか。

答 特定都市鉄道事業による高架化が、東武鉄道の事情により中止となることが、公共交通を担う事業者として誠に遺憾であると思っている。新タワーの開設が望まれることなどから、東武鉄道に対し、鉄道設計に関する積極的な技術的支援を求めるとともに、費用負担を含めた事業スキームの早期決定、過去の経緯を踏まえて格段の配慮を尽くすよう強く働きかけていきたい。

◆学童クラブについて

問 本年度は、横川さくら保育園の分園を整備するほか、認定保育園一園の追加募集や認定保育園保育料負担軽減補助の拡充を修正予算と計上している。また、来年度は、認可保育園の改善、家庭福祉員の増員等に積極的取り組みを遂げようとしているが、保費の拡大を目指す。本年度当初から実施することが求められるものの、国の動向により、継続的に実施することが必要とされるものは、通常予算として編成作業をしたい。どうして当初予算に反映できないものについては、修正予算での対応も検討したい。

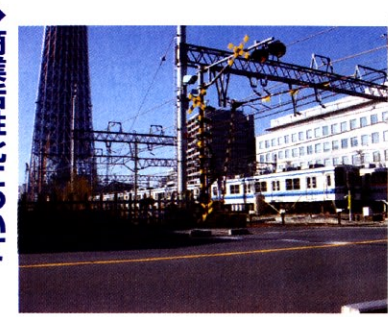
答 国の財源措置がなくなる可能性は、実施しないことによる区民生活への影響等を総合的に勘案して、個別事業ごとに判断したい。

◆東武鉄道の高架化について

問 本年度は、横川さくら保育園の分園を整備するほか、認定保育園一園の追加募集や認定保育園保育料負担軽減補助の拡充を修正予算と計上している。また、来年度は、認可保育園の改善、家庭福祉員の増員等に積極的取り組みを遂げようとしているが、保費の拡大を目指す。本年度当初から実施することが求められるものの、国の動向により、継続的に実施することが必要とされるものは、通常予算として編成作業をしたい。どうして当初予算に反映できないものについては、修正予算での対応も検討したい。

答 国の財源措置がなくなる可能性は、実施しないことによる区民生活への影響等を総合的に勘案して、個別事業ごとに判断したい。

本年度は、横川さくら保育園の分園を整備するほか、認定保育園一園の追加募集や認定保育園保育料負担軽減補助の拡充を修正予算と計上している。また、来年度は、認可保育園の改善、家庭福祉員の増員等に積極的取り組みを遂げようとしているが、保費の拡大を目指す。本年度当初から実施することが求められるものの、国の動向により、継続的に実施することが必要とされるものは、通常予算として編成作業をしたい。どうして当初予算に反映できないものについては、修正予算での対応も検討したい。



東武鉄道本社と押上2号踏切

◆商業活性化について

問 墨田区商店街連合会が創立六十周年を迎え、その重要性が、地域社会に貢献してきた実績は大きなものがあり、より一層の結束を図るため、加入促進を図る制度は考えられぬか。観光につながる商業の活性化に対する区長の見解を伺う。

答 墨田区商店街連合会は、地域に貢献してきた実績は大きなものがあり、より一層の結束を図るため、加入促進を図る制度は考えられぬか。観光につながる商業の活性化に対する区長の見解を伺う。

墨田区商店街連合会が創立六十周年を迎え、その重要性が、地域社会に貢献してきた実績は大きなものがあり、より一層の結束を図るため、加入促進を図る制度は考えられぬか。観光につながる商業の活性化に対する区長の見解を伺う。

一般質問



出羽 邦夫

◆墨田区の名称について

問 「墨田区」との名称は、昭和二十二年、新設区として「墨田」と隅田川の「田」

をとって「墨田区」としたと聞いている。いわば造語であり「墨田」には何の意味もなく、一般の方には暗い、固いという印象が強いようである。

そこで、本年度予算委員会で、経済波及効果も含めて坂下修議長から提案があった、ひらね仮名表記の変更について、あらためてその可能性、方法について区長の見解を伺う。

また、地方公共団体の名称変更にはいろいろな規制があるようだが、区名をひらね仮名表記にするとはどのような規制があるのか。愛称名、サブネームとして使うとすればどのような規制があるか伺う。

答 区名表記をひらね仮名にすることは、ひとつの方策であり、対外的なインパクトがあるものと思っている。

区名変更は当たっては、制度面では、東京都知事と協議をしようとして、区における条例制定が必要となるが、実態面において、行政はもとより、個人や企業、事業所なども含めて、全て住所名を変更することになると、相当な作業と理解が必要になるところで、区民の意向を把握しなければならぬ。一方、愛称やサブネームとしてのひらね仮名表記であれば、特段規制はないものと認識をされている。いずれにしても、多くの解決しなければならぬ課題もある。現在の漢字のままとし、必要に応じて、ひらね仮名のルビをふる等で対応したいと考えている。

問 現在の、区広報の題名は「すみだ」とひらね仮名で表記されており、区民にも親しまれているが、区にひらね仮名表記「すみだ」の使用基準というものがあ

答 区の事業所名などのひらね仮名表記の使用については、昭和六十二年に区の内政推進本部で新しい区イメージを創出するということから、基本デザインについて検討を重ね、ひらね仮名表記を使用するようになった。

問 事業所名などのひらね仮名表記については、広く区民に利用される施設などについてとり入れることを基本としている。東京スカイツリーの建設に伴い、広く内外にひらね仮名表記の「すみだ」を発信すること、多くの区民の方にも聞いていただき、積極的に活用していただく。区民の皆さんから、区長の方見解を伺う。

答 タワーの建設が順調に進む中で、マスコミ等への露出度も多く、本区への関心も高いものがある。広く内外に墨田区をアピールするため、ご提案のあったような様々な事例も含め、ひらね仮名表記の「すみだ」を活用していきたいので、ご理解をお願いします。

◆高齢者住宅について

問 現在、墨田区の六十五歳以上の高齢者数は五万二千を超過し、高齢化率は二二・三％であり、今後は更に増加傾向にあると予想されており、少子高齢化社会、核家族が進んでおり、高齢者のみ世帯、一人暮らし高齢者の増加は十分予想され、今のまま住み続けるのか、安心して住めるようへ移るのか、高齢者の方々の悩むところである。

区長は、区内のお年寄りの今おられる状況についてどのように受け止めていか

か、安心して住めるようへ移るのか、高齢者の方々の悩むところである。

区長は、区内のお年寄りの今おられる状況についてどのように受け止めていか

答 高齢者の皆さんが、住み慣れた所に住み続けられる住宅が最も重要だと考えています。

昨年度実施した、ひとり暮らし高齢者実態調査の報告によると、住宅で困っていることは、①住宅の老朽化②防犯面の不安③段差でつまづきやすいなどが上位を占めている。その一方で現在の住宅に住み続けたいという方が七四・四％という結果が出ている。このことから、安心して住み続けられる高齢者の住まいを確保していくことが、大変重要だと認識を持っています。

問 他方、高齢者が住み続けられる住宅施策を積極的に推進することも極めて重要であると考えているので、今回改定する住宅マスタープランの中で、これらについては十分検討させていただきたい。

今、区内は個室借上げ、シルバーピアなど二八五戸の高齢者住宅を確保しているが、将来的に何戸の確保を目指し、今後の高齢者住宅についてどのような考えをお持ちか伺う。

答 低所得高齢者の方々が、円滑に入居できる支援と家賃負担軽減を図るために、国の家賃補助制度を活用したい。高齢者向け優良賃貸住宅の供給と、ケア付き住宅の供給に取り組みしていきたい。高齢者住宅の将来的な戸数は、住宅マスタープランの改定の中で、現在の計画数を踏まえて上積みを図りたい。具体的な数字については、もう少し時間をいただきたい。

問 区内の組織として、都市計画部に属する住宅課が、区民の住まひの計画や今後の動きに対して総合的に抜いて、住まひ方としては一般住宅、高齢者住宅、介護・福祉関係住宅と多種多様であり、区民としてわかりづらいうろがある。ワンストップサービスができるようにしていきたい。

答 これまでも住宅課において、総合的福祉の関係も受けている中で、介護や福祉の連携も受けているが、今後はより一層福祉との連携を深め、ワンストップサービスができるように努めたい。



シルバーハイム八広

構想から行動へ!! すみだ自民党

両国
36332-7870
4-7-10-403



中村 光雄

『初志貫徹』

勇気ある発言、責任ある行動、確かな決断、初心を忘れず、皆様のために働くことを生甲斐に、全力で仕事に邁進します。

押上
36222-9570
1-25-5



西原 文隆

汗とまごころの政治

今、“すみだ”は全国から注目されています。タワー建設を起爆剤として、活気にあふれた街づくりのため、全力で頑張ります。

墨田
36111-4003
5-33-4



瀧澤 良仁

子どもと高齢者の生活を守る

身近な子育てと高齢者施策は区の仕事。生活の安定と安心を、区民が納得のいくまで追求し続けてまいります。

年賀状などの事項の挨拶状は、公職選挙法により禁止されており、本紙上をもつて新年のご挨拶とさせていただきます。



八広
36161-7014
1-39-17



田中 邦友

夢と希望の持てる墨田区を!

すみだの再生のため、区民との協働を前提に“区民が主役の区政”をめざして全力で取り組んでまいります。

八広
36161-5834
4-11-19



出羽 邦夫

『風雪磨人』

風・雪が人を磨いていくとの意味ですが、この冬の不況の風・雪は厳しく、この試練に耐え、がんばっていきます。

本所
36241-8235
2-9-5



木内 清

『真眼清心』

すみだ区の将来を虎視、区民にとって何が大切かを考え、着実に実現する。この姿勢で行動してまいります。ご指導ください。

向島
36261-2524
3-18-10



坂下 修

子育て支援、高齢者対策に全力を

いま緊急の課題は、子育て支援と高齢者対策です。そのために、全力を尽くして行財政改革に取り組んでまいります。

向島
36221-0010
5-42-3



山本とおる

すみだ区民の幸せを願って 厳しい年、でも明るく前向きに!

今年もパワー全開で、大好きな“すみだ”と皆さんのために…一生懸命、働きます。

八広
36171-4129
3-6-3

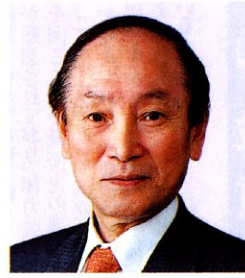


樋口 敏郎

活力と笑顔のあふれる街

厳しい年を越し、より重要な課題に取り組んでまいります。新年が始まり、皆様が“活気にあふれる暮らし”よう全力を尽くします。

江東橋
36311-1934
1-8-7



林 つねお

アメニティすみだの実現

“歩く・聞く・応える、再生こそ私の使命”自由民主党総裁の言葉です。今年も、アメニティすみだの実現に努めます。

京島
36161-1050
1-39-11-918



沖山 仁

健康であってこそ

“良い仕事”ができる
今年も健康でいることが国会人の条件であり、何よりも健康でいるための行動が“良い仕事”だと考えます。

墨田区の事業別コスト

墨田区が行っているいろいろな事業に関するコスト計算は、それぞれの事業に要する人件費を含めたコスト、区民の皆さんの負担との関係や区民税などの財源の充当、利用者一人当たりのコストなどを明らかにし、この情報を提供することで区政に対する理解を深め、職員の意識を向上させ、より効率的、効果的な事務事業に資するものであります。ここで、主な事業のコスト計算の結果をお知らせします。

《伊豆高原荘》
全体のコスト 9,776万円
利用者一人当たりのコスト 5,696円
利用者一人当たりの税金充当額 5,695円

《すみだ健康ハウス》
全体のコスト 7,164万円
利用者一人当たりのコスト 2,325円
利用者一人当たりの税金充当額 2,258円

《すみだスポーツ健康ハウス》
全体のコスト 1億4,482万円
利用者一人当たりのコスト 1,130円
利用者一人当たりの税金充当額 1,051円

《墨田区体育館》
全体のコスト 7,357万円
開館一日当たりのコスト 23万8,874円
開館一日当たりの収入 10万2,682円
開館一人当たりの税金充当額 13万6,192円

《保育園》
全体のコスト 56億6,754万円
入所児童一人当たりのコスト 224万9,754円
入所児童一人当たりの収入 19万5,470円
入所児童一人当たりの税金充当額 205万4,447円

菊川
36321-4130
3-22-5-102



あそう あきこ

レッツトライ! すみだ

生涯学習の充実、世界に誇れる国際都市の実現へ、少数意見の尊重、住み続けたいまち、共生社会の実現に向けて、今年も着実に取り組んでまいります。

業平
36251-8139
4-5-16



福田はるみ

スマイルすみだ、

みんなが笑顔でいられる街
「すみだに住んでよかった!」と思えるまちを、区民の皆さんと一緒につくっていききたい、そう思います。お力をおかしてください。